

大地

発行者:池田圭子

編集者:橋本 健

足寄町立足寄小学校だより 第 249 号

令和 7 年 4 月 30 日発行

「自分で考え 自分で決めて 自分で行動する子」を育てるために

「おはようございます。」朝の爽やかな挨拶からはじまる足寄小学校。子どもたちはどの子も笑顔で朝の挨拶をしています。とても清々しく「今日も一日、楽しくなりそうだな。」という気持ちになります。足寄小の子どもたちの挨拶はとても素晴らしく周囲の人を優しい気持ちにさせる世界一の挨拶だと私は感じています。

さて、今年度、本校の目指す子どもの姿は「自分で考え 自分で決めて 自分で行動する子～多様な他者と協働しながら課題を解決する力を基盤として～」としました。これはこれからの社会を生きていくうえで、必要不可欠な“主体性”を育てていこうという思いを込めたものです。自分の頭でしっかりと考え、自分の意志で選択し、その選択に責任をもって行動できる力は、将来にわたって子どもたちの大きな財産となります。

「自分で考える」「自分で決める」「自分で行動する」と言葉で言うのは簡単ですが、実際には小さな経験の積み重ねが大切です。だからこそ、学校では、子どもたちが「自分でやってみる」機会を大切にしていきます。

この姿を実現するために、全教職員が共通理解のもと、日々の教育活動を見直し工夫を凝らします。例えば、授業では教師の説明を聞くだけでなく「どう思う?」「なぜそう考えたの?」と子どもたちに問いかけ、自分の考えを言葉にする時間を増やすとともに、友達との話し合いも大切にし、互いに意見を聞き合いながら考えを深める活動を積極的に取り入れていきます。

また、学校行事や委員会活動でも、子どもたちが自分で役割を考えたり、話し合いで決めたりする場面を大切にします。「自分たちでやりきった」「自分たちでできた」という経験が次の自信につながるるとともに、主体的にかかわる姿勢も育ちます。

そしてこの力は学校だけでは育ちません。ご家庭や地域と連携し、子どもたちが日常生活の中でも「自分で考え 自分で決めて 自分で行動する」経験ができる環境づくりが大切です。ご家庭でのちょっとした関わりも、実は大きな力になります。例えば・・・

○朝の洋服を自分で選ばせてみる

○習い事や休日の過ごし方を自分で考えて、決めさせてみる

○忘れ物をした時に、叱るのではなく「どうしたら忘れないかな?」と一緒に考えてみる

○日常の出来事について「どう思った?」「それってどうしてかな?」「なぜそう考えた?」と問いかけ、
子どもの意見を聞き、考える機会を作る などなど・・・

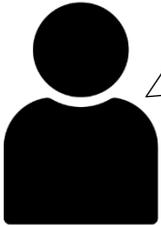
どれもすぐにできる、ささやかなことばかりですが、こうした日々のやりとりが「自分で考える力」や「自分で決める経験」につながっていきます。そして何より大切なのは、大人が「やらせてみよう」「任せてみよう」と一歩譲ることかもしれません。ぜひ、やってみませんか。

地域の皆様にも見守り活動等の御協力、日々の挨拶などを通して子どもたちを育てていただいています。学校・家庭・地域が一緒にあたたかく子どもたちに関わることで、子どもたちは「たくさん大人の支えられている」安心感の中で、自分らしく育っていきます。子どもたちが、自分で考え、選び、行動しながら未来を生きていけるように、今年度も皆様と力を合わせて、子どもたちの成長と一緒に応援していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

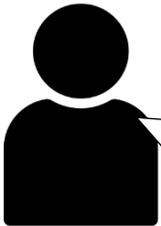


転入職員紹介

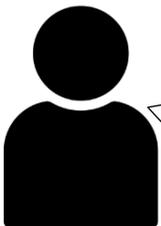
今年度は新たに7名の職員を迎え、さらにさらにさらに活気あふれる職員室になりました。それぞれ心からのコメントを、ご紹介いたします。



校長の**池田圭子（いけだ けいこ）**です。足寄小学校の子どもたちは、笑顔いっぱい。爽やかで明るい挨拶が世界一だと感動しています。「こどもをまんやかに」学校、保護者、地域の皆様、関係機関の皆様と手を取り、一緒に子どもたちの健やかな成長を支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



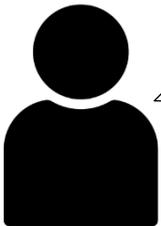
4月からお世話になっております**荒田麻結（あらた まゆ）**と申します。音更小学校から赴任して参りました。足寄小学校の子どもたちの元気いっぱいな姿や純粋さにパワーをもらっている毎日です。子どもたちが学校でのびのび過ごすことができるようサポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



4月から足寄小学校でお世話になっています、5年生担任の**田中裕登（たなか ゆうと）**です。帯広市の啓西小学校から赴任しました。足小の子どもたちがのびのびと発表し、友達を想った行動をとる姿に日々、感心するとともに活力をもらっています。子どもたちと相談し、時に励まし合いながら1日、1日を過ごしていきたいと思えます。これからどうぞよろしくお願いいたします。



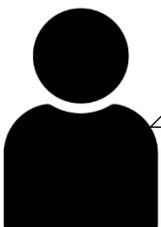
4月から足寄小学校で勤務することになりました**辻本一貴（つじもと かずき）**と申します。広大な足寄町の環境と元気な足寄小学校の皆さんからエネルギーをわけてもらい、素晴らしい日々を送らせてもらっています。至らないところも多いと思いますが楽しくワクワクに満ちた学校生活を送るサポートをしていきますので、これからよろしくお願いいたします。



4月から勤務することになりました**今井悠平（いまい ゆうへい）**と申します。今年度から新しく教員になったのでわからないことが多いですが、周りの先生方、足寄小の子どもたちからたくさんのことを吸収して成長していきたいと思っています。これからの学校生活がとても楽しみです。



この4月より足寄小学校で勤務することになりました**西田智草（にしだ ちぐさ）**と申します。支援学級を担当します。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようサポートしていきます。足寄小学校の子どもたちは、気持ちの良い挨拶ができるところがとてもすてきだと感じています。さらに足寄小学校の良さを知っていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



4月から学習支援員として勤務することになりました**青木真由美（あおき まゆみ）**と申します。元気いっぱいの足寄小のみなさんと一緒に学習できるのを楽しみにしてきました。子どもたちが、より楽しく、より充実した学校生活を送れるようサポートしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。





令和7年度 足寄小学校 校内体制

1 在籍児童数(令和7年4月30日現在)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男	16	12	20	19	22	21	110
女	10	15	18	18	15	18	94
計	26	27	38	37	37	39	204

2 学級担任等

担当等	氏名	担当等	氏名	担当等	氏名
校長	池田 圭子	6年2組	幾島 佑哉	養護教諭	守内 睦
教頭	橋本 健	ひまわり	中村 啓子	事務職員	東海林泰介
1年1組	後藤 芽唯	ひまわり	松本侑里香	事務補	伊藤美千代
2年1組	川上 慶祐	ひまわり	辻本 一貴	学習支援員	山田 史絵
3年1組	山岸 和子	ひまわり	今井 悠平	学習支援員	松村 聡美
4年1組	重泉 壮生	ひまわり	西田 智草	学習支援員	青木真由美
4年2組	荒田 麻結	ひまわり	井上 瑤平	介助員	内藤 由美
5年1組	田中 裕登	専科(理)	岸山 知歩	公務補	森 久雄
6年1組	古川 智洋	初任者研修拠点校指導教員	西藤 孝幸	公務補	須川 邦洋

読み聞かせボランティアの募集について

小学校で絵本の読み聞かせをしてみませんか？

絵本の会「はらっぱ」では、月に一度、中休みを利用して、1～3年生の子どもたちを対象に、一緒に絵本の読み聞かせをしてくれる仲間を募集しています。経験は問いませんので、子どもや絵本が好きな保護者のみなさま、ぜひ一緒に読み聞かせをしましょう！ みなさまのご連絡を、心よりお待ちしております！

- 連絡先：0156-25-2114（足寄小学校 教頭まで）



足寄小学校はSDGsを推進しています



新PTA執行部のご紹介

令和7年度PTA執行部役員をご紹介します。
これから1年間、PTA活動を推進してまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

役職	氏名
会長	
顧問	
副会長	
会計	
監査	
事務局	



主な行事

- 1日(木) 家庭訪問・面談
- 2日(金) 1年生を迎える会・児童会
- 3日(土) 憲法記念日
- 4日(日) みどりの日
- 5日(月) こどもの日
- 6日(火) 振替休日
- 7日(水) 歯科検診(1~3年) 職員会議
- 8日(木) 家庭訪問・面談・尿検2次
- 9日(金) 避難訓練・読み聞かせ
- 12日(月) 家庭訪問・面談
- 13日(火) 心電図検査(1年)
- 14日(水) 交通安全教室・家庭訪問・面談
- 15日(木) 知能検査(3・5年)・家庭訪問・面談
- 16日(金) 家庭訪問・面談
- 21日(水) 内科健診(3・4年)
- 23日(金) 遠足
- 26日(月) 運動会特別時間割開始
- 28日(水) 移動図書
- 6月7日(土) 運動会

つぶやき

「イマドキの運動会は時代間ギャップがすごい」という話を聞きました。大きく変わった原因の一つは新型コロナウイルス感染症の拡大。密をさけるための策を様々考え実施方法も変化しました。他にも「安全面優先」ということで子どもたちの怪我や事故の未然防止、危険性を考え組み体操や騎馬戦も他の競技になったり、順位を競い合うのではなく「勝負ではなく、成果を重視」する徒競走となったりと時代とともに内容も変化しているようです。

昔の小学生の私は運動会が大好きな子どもでした。子どもの頃、楽しみだったのはリレーです。子どもの頃は、走ることが大好き、どんなことがあっても走ることで「負けたくない」子どもでした。「負けない」ために努力もしました。周りに迷惑をかけてはいけないと厳しくしつけられたので、誰かと勝負して迷惑はかけられません。そこで私がしていたのは「自分内勝負」です。少年団の朝練で毎日5キロ走っていたのですが、1キロのタイムを「今日は絶対〇分〇秒以内」と決め自分と勝負するのです。だれも傷つけず、自分の自己満足の世界です。「自分内勝負」は実は今もこっそり続けています。これが以外にも楽しくて、日常の些細なことでも「自分内勝負」をして満足感を得たり、反省をしたりしています。「勝負だけど、自己有用感を重視」。これはイマドキですか？どうなのでしょう？

さて、本校でも運動会の練習が始まります。運動会は学校行事です。学校行事とは「学習指導要領に基づき、児童生徒の成長や発達を促すために計画された教育活動」で学習指導要領第5章特別活動〔学校行事〕に「学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。」とあります。子どもたちは、自分の目標を定め、練習に励みます。団体競技では、みんなで話し合い試行錯誤した作戦を実践し、うまくいくようにさらにブラッシュアップするために友達と知恵を出し合い、決め、やってみる。この繰り返しにより協力することの素晴らしさを実感したり、自主性や主体性が育まれたりするのです。結果も大切かもしれませんが、運動会当日の種目一つ一つには、ドラマがあり、当日に行きつくまでの過程が何より大切なのです。

運動会は誰のもの？「子どもたちのもの」なのです。

私は運動会を通して、子ども自身が成長したという実感を得てほしいと願っています。そのためにも子どもたちの素敵な変化を言葉に出して伝えていきたいです。学校はもちろん、お家でもお子さんのよい変化を言葉にして伝えてほしいです。意識することで、きっと、今より素敵な発見ができると思いますよ。



(校長 池田圭子)